

ピクニック2025開催!!



4月6日(日)にヒューストン日本商工会・グレーティヒューストン日本人会共催のピクニックを、昨年に引き続き観光牧場Oil Ranchにて開催致しました。イベント前日は雷雨でしたが、幸い当日は天候に恵まれ、昨年とほぼ同規模の約1,000名が参加し大盛況となりました。

12時過ぎからの開会式と共にピクニックがスタート。今年もBBQランチやポップコーン、かき氷などが会場から提供され、皆さんで食事を楽しみました。食事以外のイベントとしては、商工会が企画した「わくわくスタンプレー」や「わくわくサッカーレース」は子どもから大人まで多くの方に参加頂き、ペッティングゾーやハイライド、トレンライドなどの会場のアトラクションも大盛況でした。また、今年も日本テキサス医学振興会(JMTX)様の展示ブースもあり、血圧/血糖値の無料測定や子供向けアクティビティも充実しており、とても賑わっていました。

開会式では、花澤首席領事・武智日本人会会长・濱田日本商工会会長より挨拶頂き、閉会式では、サッカーレースの表彰式やラッフルの当日抽選会を行いました。ラッフル抽選会では、日本往復航空券やアストロズ試合観戦特別席などの豪華賞品が用意され、皆様が見守る中、抽選番号が読み上げられる度に歓声が響きました。

大変多くの参加者にも関わらず、大きな怪我や事故もなく無事ピクニックを終了することができました。参加頂きました皆様はもとより、協賛金・ラッフル抽選賞品をご提供頂いた企業・団体の皆様、日本人会の皆様、商工会幹事チームや準備・運営をお手伝い下さったボランティアの皆様など、ピクニック開催にご協力頂きました全ての関係者の皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(文化委員長 赤間 悟/ダイキンコンフォートテクノロジーズノースアメリカ)



▲花澤首席領事



▲濱田日本商工会会長



▲武智日本人会会长



ご意見やご感想がございましたら、来年以降の参考とさせて頂きますので、[商工会ホームページ](#)よりお寄せください。



▲ダイキンパーク入場券当選者



▲ANA往復航空券当選者



▲ZIP AIRペア往復航空券当選者

目次	1~3...ピクニック 4...日本人会&JMTXピクニック 会社紹介 5...TXはエネルギー生産量もCO2排出量も全米No.1	6...P6続き・ハリケーン情報 7...ダイキンパーク紹介 8...定例講演会 9...ソフトボール	10...大西宇宙飛行士 11...新校長着任挨拶・入園入学式 12...ヒューストン日記 ショーアイグジapan	13...ロデオ写真コンテスト結果発表 14...テキサスメディカルセンター 15...ワンモア・ガルフより 16...Houston Walker・編集後記・議事録
----	--	--	--	--

わいわいサッカーレース

肌寒い曇り空の下で開催された今年のサッカーレースは「熱さ」と「冷たさ」が絶妙に交差するイベントとなりました。スタートの掛け声とともに、参加者たちが必死にピョンピョン跳ねる姿に、会場は笑いと歓声の渦に包まれました。特に印象的だったのは、転んでも立ち上がり最後まで諦めない子どもたちの勇姿と、意外な身体能力を発揮した大人たちの本気モード。グループ代表戦では三井物産が2連覇の快挙！

肌寒いながらも参加者の熱意と観客の声援が作り上げた素晴らしい時間でした。優勝者の皆さん、おめでとうございました！また参加・応援してくださった皆様ありがとうございました！



▲レース入賞者のみなさま



連覇の三井物産チーム！おめでとう！！

わくわくスタンプラリー

2025年ピクニックのアクティビティとしてスタンプラリーを開催し、大人から子供まで様々な層の方にご参加いただきました。当日は気温が低かったこともあり人数が集まるか不安でしたが、時間前からまだかまだかと参加者に集まって頂き、開始と同時にOil Ranch 内を駆け回る子供たちの活発な姿を見ることができ、イベント主催側としても非常にうれしかったです。

小さなお子様から成人の方々までみんな一生懸命地図を見ながらスタンプポイントを探し、すべて完了した後で賞品が当たり喜んでいる姿がとても印象的でした。



ラッフル抽選会

ピクニック終盤を盛り上げるラッフル抽選会が始まる頃には、本部前に沢山の人が集まり、司会の「豪華賞品が欲しいかい！」のコールに参加者の皆さんから大歓声が沸き起こり、会場のボルテージは一気に最高潮を迎えました。当選者の歓喜の声と、「次こそは！」と意気込む参加者の緊張感が会場を包み込み、抽選会は大いに盛り上がりました。

今年はANA様に加え、ZIP Air Tokyo様からも日本往復航空券をご提供いただき、さらにDaikin Parkのバックネット裏観戦券など、豪華賞品が揃いました。事前抽選の賞品をはじめ、寄付頂いた企業関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

(米国三菱重工 尾根 敬介)



グレーターヒューストン日本人会

当日は、予想もしない寒波の影響で今まで最も寒いピクニックとなり、日本人会の場所では皆さんが集まり温め合っていました。日本人会の集合場所は本部席の後ろで、医療グループと隣接していたので、医療関係の皆さんと血圧測定などを通じて親交を深めることができました。また、日本人会ではカルビーのポテトチップスを130個用意していましたので、会員の皆さんだけでなく会員以外のお子様にもお渡しできました。

メインイベントの「サッカーレース “会社・グループ対抗戦”」には日本人会として参加出来ませんでしたが、来年は個人、団体に参加したいと思います。

恒例のラッフル抽選会では、豪華賞品がたくさん用意されていましたが、残念ながら日本人会の皆さんには当たりませんでした。しかし事前抽選では当選された方が多く、ラッフル幹事グループに感謝です。ピクニックの運営収支に貢献するラッフル券の売り上げのため、日本人会を代表しコンさん親子が各テントを回り数多くの券を販売してくださいました。

閉会式での「来年も盛り上げて行きます」との濱田商工会会長のお言葉通り、これからも商工会と日本人会の協力でピクニックが更に充実したものになっていくことを期待しています。



会社紹介

Greenberg Traurig, LLP.
準会員 代表 鈴木一平 さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

グリーンバーグ・トラウリグ(GT)は、1967年にフロリダ州マイアミで設立された法律事務所です。現在はアメリカ国内に34か所(テキサス州内ではヒューストン、ダラス、オースティン)、そして日本を含むアジア、ヨーロッパ、中南米、中東エリアに合計15のオフィスを展開し、世界中のクライアントに対して2500人以上の弁護士が法的サービスを提供しています。一般的な企業法務案件から、宇宙関連やeスポーツといった比較的新しいビジネス分野まで幅広い案件を取り扱っております。テキサス州内では、特にコーポレート・M&A、エネルギー、不動産、訴訟、ヘルスケア・FDA、バンкиング・ファイナンス、労働、IP関連の分野に強みを持っています。

ヒューストンオフィスは、街自体がエネルギー産業の中心地として発展してきた背景もあり、エネルギー関連の業務に注力しており、従来型のエネルギーはもちろん、再生可能エネルギー案件も非常に多く手掛けております。

当事務所では、日米間のビジネスをめぐる法的課題に多様な形で取り組んでおり、引き続き貢献していきたいと考えております。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

私は2024年8月にロサンゼルスからオースティンに引っ越ししてきましたが、テキサス州は優しい方が多く、とても住みやすい場所だと感じています。スーパー・レストランはもちろん、空港の職員や免許の書換えで訪れ

日本テキサス医学振興会



昨年ご好評をいただいたJMTXブースを今年も出展致しました。とても寒い中お立ち寄り頂いた皆さん、ありがとうございました。

お子さま向けルーレットは今年も大盛況でした。また、血圧・血糖測定コーナーで健康チェックされた皆さん、結果はいかがでしたか。今後も定期的に測定してみてくださいね。さらに、管理栄養士監修ヘルシーレシピ(フレーバーポップコーン)の配布も行い、「おいしい!」というお声を複数いただきました。

多くの方にJMTXを知っていただけた良い機会となったことを、スタッフ一同嬉しく思っております。

JMTXではホームページに多くの医療情報を掲載しています。おすすめクリニックリストや過去のウェビナー録画、健康レシピなどもご覧いただけますので、ぜひチェックしてみてくださいね!



たDPSの窓口の方まで、親切で優しい方ばかりで、サザン・ホスピタリティを肌で感じています。

また、街が急速に発展している点もとても印象的です。私が住むオースティンでも、ダウンタウンエリアでは複数の高層ビルが建設されており、そこから少し離れば集合住宅の建設がいたる所で進んでいます。街全体が活気に満ちて急速に成長している様子を目の当たりにし、とても良い刺激を受けています。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

釣りが好きで、特にブラックバス釣りは小学生の頃から30年近く続けています。テキサスでは住宅街の小さな池でも大きな魚が釣れることがあります。暇さえあれば近くの池に通っています。



また、ゴルフも好きで、毎月 Austin Japan Communityの皆さんと一緒にラウンドさせていただいています。普段はオースティンに住んではおりますが、ヒューストンの皆様とも、釣りやゴルフ、商工会のイベント等を通じてお知り合いになれたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



テキサス州はエネルギー生産量もCO2排出量も全米No.1 どうすればクリーンな電気を増やすことができるのか

エネルギー産業で有名なテキサス州ですが、エネルギー生産量No.1の州であるとともに、CO2排出量も全米で最も多い州でもあります。テキサス州は年間663百万トンものCO2を排出しており、第二位のカリフォルニア州(326百万トン)の2倍以上と突出した排出量となっています。

多くのCO2排出はエネルギーを利用した際に排出されるものですが、テキサス州は工業がエネルギー利用の約6割を占めているこということが他州を凌駕する排出要因になっています(図1)。

テキサス州は石油・ガスをはじめとしたエネルギー生産量が多く、全米平均の14倍近くの生産量と他州を圧倒しています。これがテキサス州の経済力の強みではありますが、一方でテキサス州は風力・太陽光とともに再生可能エネルギー生産適地でもあり、州のエネルギー政策の強化も図られています。2022年の電源構成は再生エネルギーが13%(図2)であったものが、2024年は34%まで拡大しています。一方、石炭火力は25%から13%、ガス火力は50%から43%と減少していますが、ガス火力発電は需要に応じて起動や停止、出力の増減が可能なディスペッチャブル(調整可能)電源としてある程度の割合を今後維持されてゆくことになると考えられます。

では、今後残るであろうガス火力発電の脱炭素にはどのような解決策があるのでしょうか。現在大きく提案されているのが、①発電所から発生するCO2を除去する方法と②発電に利用する燃料そのものをCO2を排出しない水素などに変えてしまう方法があります。

1. 発電所から発生するCO2を除去する方法(GTCC+CCS)

GTCCは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル方式で、高効率で発電します。この発電所の燃料は天然ガスを利用し、ガスタービンから排出される排熱も利用して蒸気タービンで発電するこ

End-use consumption by sector, excluding losses

0.0 trillion British thermal units
(percent of total for all sectors)



Commercial

809.7
(7.0%)



Industrial

6,670.1
(57.3%)



Residential

851.5
(7.3%)



Transportation

3,310.6
(28.4%)

▲図1 テキサス州におけるセクター別エネルギー利用量(EIA, 2022)

Electric power sector consumption by source

3,680.6 trillion British thermal units
(percent of total for all sources)



Coal
926.2
(25.2%)



Natural
gas
1,839.2
(49.9%)



Petroleum
3.3
(0.1%)



Renewable
energy
479.3
(13.0%)



Nuclear
power
434.7
(11.8%)

Electricity flows

trillion British thermal units



Net interstate inflows
of electricity
133.4

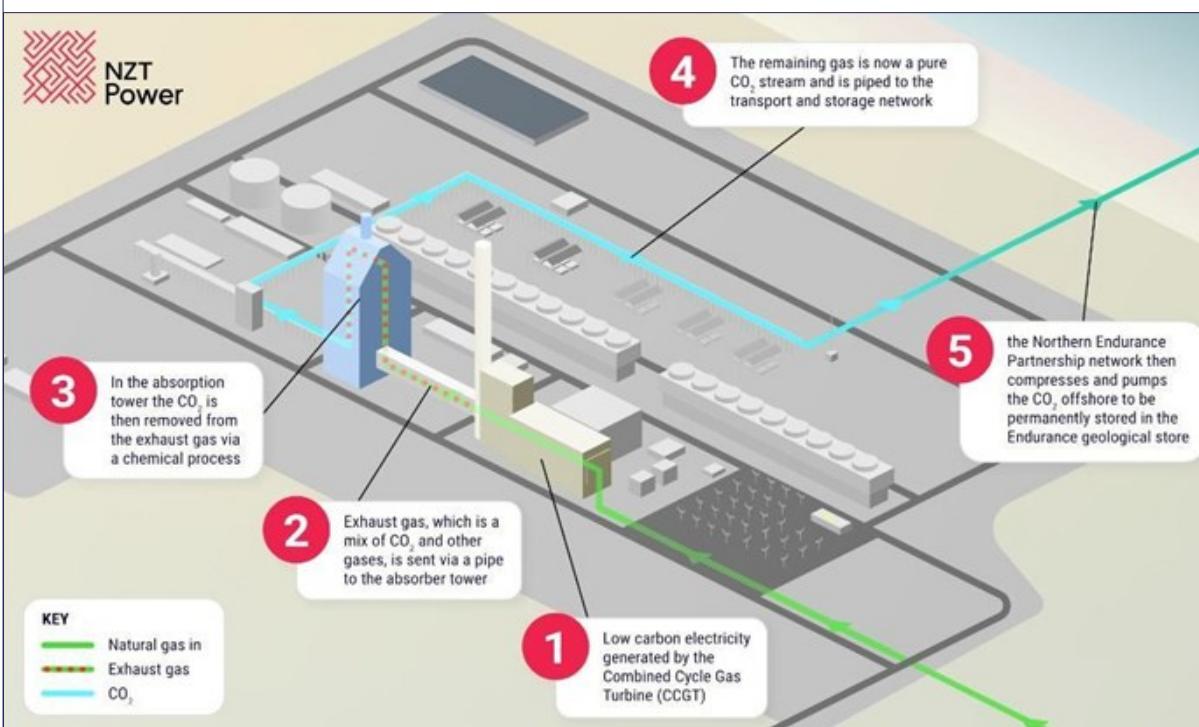
Net international
exports of electricity
12.0

▲図2 テキサス州における電源構成別発電量(EIA, 2022)

とで発電効率が60%を超えるものもあり、このコンバインドサイクルを適用すること自体でCO2排出を石炭火力などと比べて大幅に低減できるシステムです。ガス火力発電の排ガスに含まれるCO2(数パーセント)を回収し、そのCO2を地下に貯留することでCO2の90~95%を除去することができます。最近UKではNet Zero Teesside Power (NZT Power)が、世界初の事業用スケールのGTCC+CCSを組み合わせたプロジェクトをFID(最終投資決定)し、2028年に稼働開始の予定です。最大742MWの電力を発電することができます。このプロジェクトでは年間最大200万トンものCO2を地下に貯留し、クリーンな電力の提供が可能です。

このCCSはガスタービン発電所だけでなく、様々な排ガスからのCO2を回収することができ、様々な産業での脱炭素手段として期待されています。テキサスでは石炭焚火電発電所からのCO2回収装置が2016年に完成、稼働しています。皆さんよく見かける煙突から排出されるCO2を減らすことができると考えるイメージしやすいと思います。一方で、このCO2の貯留には半永久的にCO2を貯留することが求められており、この貯留したCO2のモニタリングを長期にわたって実施していく必要があります。

(6ページへ続く)



▲図3 UK Net Zero Teesside Powerのプラント構成(NZ Teesside Websiteより)



テキサス州はエネルギー生産量もCO2排出量も全米No.1

どうすればクリーンな電気を増やすことができるのか
(5ページ続き)

2. 発電に利用する燃料そのものをCO2を排出しない水素などに変えてしまう方法(水素焚ガスタービン)

もう一つの解決策が水素焚ガスタービンの採用です。水素は炭素(C)を含まない気体でありこれを燃焼しても一切CO2は排出されません。また、このシステムでは燃料をガスタービンに供給して電気を作るという仕組みは同じなので、発電所自体は従来型の発電所と似たようなプラント構成となります。ただ、水素は天然ガスと比較して燃焼速度が速いため水素焚に適したガスタービンの開発が必要となります。中小型(数十MWクラス)は水素100%燃焼の商用化ができる状況となっており、大型発電所向けのガスタービン(数百MWクラス)も水素を天然ガスと混焼して発電するプラントも商用化されています。この水素焚ガスタービンに利用される水素は例えれば再生エネルギーの電力を利用して製造されることになりますが、再生エネルギーはご存知の通り需要にあった電力量を柔軟に提供することができないため、水素という形でエネルギーを貯留して電力需要にあわせて水素をガスタービンで燃焼するというメリットがあります。米国ユタ州ではすでに余剰再生エネルギーを利用して水素を作り、電力が不足する時期に水素を混焼するガス火力発電所で発電するプロジェクトの建設が進められています(図4)。



▲図4 米国ユタ州で進められているプロジェクト。水素は地下岩塩空洞に貯留される。(DOE Webサイトより)

今回は大型の発電設備のCO2削減の取り組みを紹介しました。CO2排出量が少ない再生エネルギーを今後さらに増やしてゆくことは脱炭素の観点では重要なことですが、電力がいつでも必要な時に利用するためには、CO2排出量を低減する幅広い解決策をもつことが重要となっています。

(米国三菱重工業 SVP 早川 洋平)



ハリケーンシーズン到来

これからヒューストンに暑い夏が訪れます、それと同時にハリケーンシーズンも始まりを告げます。毎年6月1日から11月30日までがハリケーンシーズンとされており、中でも8月中旬から10月中旬頃が最盛期と言われています。ヒューストン近郊にハリケーンが上陸した場合には大きな被害を受ける可能性があり、水や電気といったライフラインが長期間に亘り機能しなくなる恐れがあります。ハリケーンは襲来を予測することが困難な自然災害ではありますが、いざ上陸した場合に備え、日頃から事前に十分な準備をしておくことが非常に大切になります。ここではハリケーンに関する基本情報や過去にあった被害を振り返り、事前準備の重要性について述べさせていただきます。

ハリケーンの基礎知識

米国では熱帯低気圧を最大風速に応じて分類しており、最大風速が時速39-73マイルに発達したものをTropical Storm(熱帯暴風雨)と呼び、時速74マイル以上のものをハリケーンとしています。さらにハリケーンは風速の強さに応じてカテゴリー1から5までの5段階に分類され、カテゴリー3以上をMajor Hurricane(大型ハリケーン)と呼んでいます。日本の台風の強さと比較すると、Tropical Stormは「台風」に相当し、ハリケーンのカテゴリー1は「強い台風」、カテゴリー2は「非常に強い台風」、カテゴリー3以上は「猛烈な台風」に相当します。

大西洋側の Tropical Storm とハリケーンの発生数は過去平均14個ですが、昨年は18個と平均を上回り、今年は17個と予想されています。毎年発生順にアルファベット順で名前が命名されています。

ハリケーンによる被害

昨年、台風2号にあたるハリケーンBerylが7月8日にテキサス州に上陸し、北上を続けてヒューストンのすぐ西側を通過しました。Berylはカテゴリー1の勢力だったにも関わらず、ヒューストンは危険半円(Dirty Zone)と呼ばれるハリケーン進行方向の右側(東側)に位置したため、想像をはるかに上回る数の倒木により2百万件を超える大規模な停電が発生しました。その被害範囲の大きさから復旧に時間が掛かり、1週間以上停電が続いた地域もありました。テキサス州での死者数は45人に上り、倒木の下敷きや冠水による車中での溺死といった直接的な要因に加え、停電による熱中症といった間接的な被害もありました。

また、2017年にはカテゴリー4の大型ハリケーンHarveyが上陸し、米国観測史上最大の降水量を記録し、ヒューストンの1/3が水没、13百万人と家屋13.5万軒が被災、1百万台の車両損壊、死者103名という甚大な被害をもたらしました。Harveyによる被害総額は米国の記録上2番目の規模となる1,525億ドルにも上るものでした。

ハリケーンへの備え

事前準備で一番重要なものとして飲料水や生活水の確保が挙げられます。断水にならなくても浄水場の被害によりBoil Water Noticeが出るケースも想定されるため、十分な飲料水を用意しておくことが必要です。その他、缶詰等の食料や、簡単な調理ができる卓上ガスコンロ、携帯電話の充電器、洗い物が不要な紙コップや紙皿等も準備しておきたいものです。また、ガソリンスタンドの閉鎖等で自動車の給油が困難になるため、事前にガソリンを満タンにしておくことも重要です。その他、商工会ホームページの「[安全・危機管理情報ページ](#)」ではハリケーン関連情報の入手先、具体的にどのような準備が必要か、Harvey体験談等が収められていますのでご参照頂ければと思います。

ハリケーンが近付いて暴風雨が始まってからの外出や移動は倒木や冠水といった危険を伴いますので、余裕を持って事前にしっかりと準備を進めて頂ければ幸いです。

(安全・危機管理特命理事 竹原 優)

▼ハリケーンBerylによる倒木



MLBヒューストン・アストロズ本拠地球場 命名権取得への想い



ヒューストン日本商工会の皆様、こんにちは。ダイキン・コンフォートテクノロジーズ・ノースアメリカ社の社長兼CEOの赤間でございます。この度はガルフストリームに寄稿の機会を頂きありがとうございます。

私たちダイキン・コンフォートテクノロジーズ・ノースアメリカ社は、ダイキン工業が2012年に買収したグッドマン社を前身としております。2017年には、ヒューストン近郊のウォーラー市に住宅用・業務用空調機、暖房機器などを開発・生産する当社グループ最大の空調生産拠点「Daikin Texas Technology Park」を設立し、ヒューストン大都市圏で約10,000人に雇用を提供しております。

弊社グループは、従業員一人ひとりの成長が企業の発展の基盤であるとの信念の元、事業規模の拡大とともに社会課題を解決することを経営理念として掲げ、主に空調機の生産・販売をしております。特にこの北米では、現在、環境に配慮した空調機の生産・販売に力を入れております。

アメリカでは、電力使用量の38%を一般家庭が占め、そのうち空調機関連が占める割合は約70%にも上りますが、空調機の省エネ化は進んでおりません。例えば、全世界的に普及が進んでおります省エネで快適性の高いインバータエアコンは、日本、欧州では普及率はほぼ100%、中国でも92%の状況ですが、ここアメリカではわずか16%という状況です。弊社はこのインバータエアコンを普及させることで、環境負荷の低減に取り組んでおります。



さて今回、アストロズ本拠地球場の命名権を取得させて頂きました。このお話をアストロズから頂いたのは2024年3月のこととなります。アストロズといえば、言わずと知れたメジャーリーグの強豪チームです。2017年、2022年のワールドシリーズ優勝試合は胸を熱くして応援したことを覚えております。その他、昨シーズンでは、ケガ人の影響で一時は最下位争いをしたものの劇的に首位へ返り咲き地区優勝を果たしたり、菊池雄星選手がプレーしたりと目が離せないチームです。

アストロズ本拠地球場の命名権取得についてダイキンをご指名下さった時は信じられない気持ちと共にMLBの名門球団が我々にお声がけをして



▲アストロズとのパートナーシップ契約調印式の様子
アストロズオーナー兼会長ジム・クレーン氏（写真左側）
赤間社長（左から2人目）

くださったことをとても誇りに感じました。

アストロズとの話し合いの中で弊社が命名権を取得することに決めたのは、ヒューストン・アストロズのオーナー兼会長のジム・クレーン氏の人となりが弊社の考え方と一致したからでございます。ジム・クレーン氏は2011年にアストロズ球団を買収されました。当時のアストロズはリーグ下位を争うチームでありましたが、若手の育成や有望選手のドラフトを重視し、数年掛けてチームを強化され、アストロズを常勝のチームにしました。また、野球以外でも男子プロゴルフ(PGA)ツアー・ヒューストン・オープンのメインスポンサーを引受け、PGAツアーのコースをパブリックに公開し、アストロズのマーケティングチームを活用することで、赤字だったPGAツアーを黒字化され、その収益金を社会貢献に活用されています。さらに環境への高い関心を持たれており、アストロズ球場のゼロ・エミッション化に向けて、ソーラーパネルの設置や廃棄物の削減等、非常に積極的に環境課題解決に取り組んでおられます。

このようなジム・クレーン氏の人となりは弊社の人材育成や社会貢献の考え方方に共通するものがございました。また、ジム・クレーン氏ご自身も弊社の理念、取組みに共感して頂いたことから、2025年1月1日から2039年シーズンまでの15年間、ヒューストン・アストロズの本拠地球場を「ダイキン・パーク」とするパートナーシップ契約の締結をすることといたしました。今後、弊社はアストロズとのパートナーシップを通じて、地域のコミュニティに深く根ざした企業になりたいと考えています。空調機は無くてはならないものですが、アメリカでは目に見えにくい場所に設置されています。そんな空調機のメーカーである我々を、ヒューストンをはじめとする米国の人々や、アストロズ、MLBファンの間でもっと身近な存在として感じて頂きたいと考えております。また、同時に先進的な空調技術で経済価値と環境・社会価値の向上を両立するというダイキンのビジョンを広く共有していくと考えています。

3/27(木)よりダイキン・パークでの2025年のMLBレギュラーシーズンが開幕いたしました。昨シーズン逃したワールドシリーズへの進出そして、ワールドチャンピオンになることを期待しております！

商工会の皆様もダイキン・パークにぜひお越しになり、一緒に応援して頂ければ幸いです！

（ダイキンコンフォートテクノロジーズ・ノースアメリカ社 社長兼CEO 赤間 悟）



▲ウォーラー市にある空調生産拠点

ソフトボール大会 優勝はStorms !



▲準優勝トロフィー授与 Mitsui



▲優勝トロフィー授与 Storms



▲3位トロフィー授与 住友ダッシュ



▲白熱の決勝戦 Storms vs Mitsui Mulligans



▲救護ボランティア：藤田由利子先生（左）、ドロリンガー真紀先生（右）

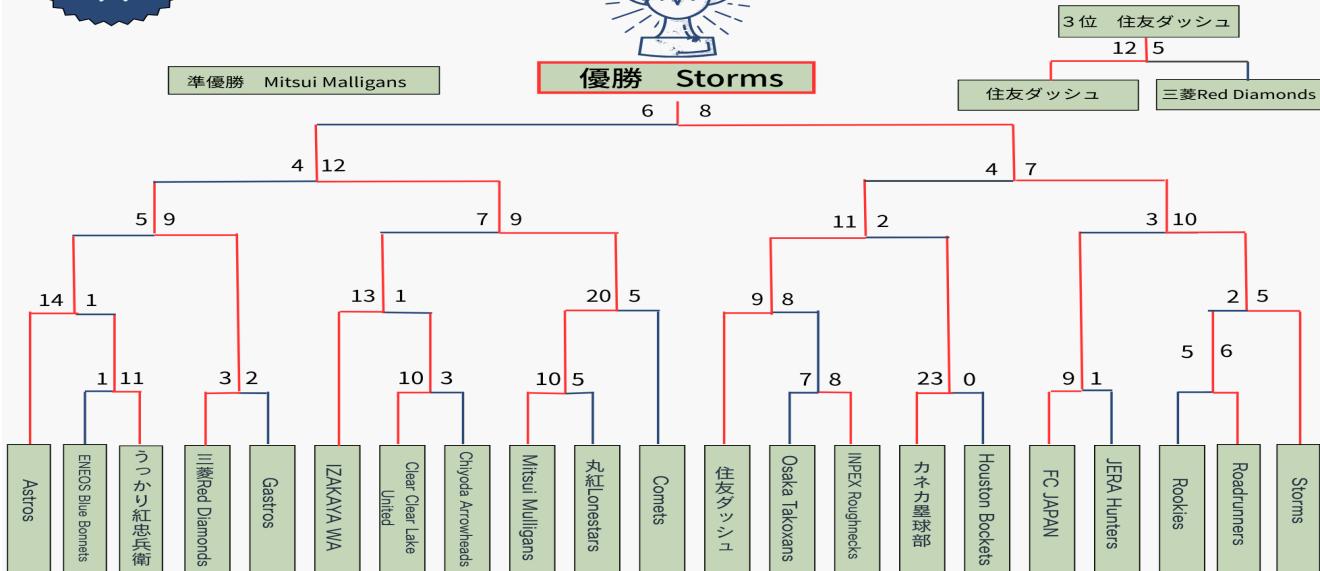


試合結果



優勝 Storms

6 | 8



ヒューストン日本商工会主催の総領事杯ソフトボール大会が4月27日(日)、Shadow Creek Ranch (Pearland)にて開催され、全21チームが熱い戦いを繰り広げました。例年は4フィールドを使用し、試合時間60分で行われていましたが、連日の雨の影響により急遽3フィールドに縮小、試合時間も50分に短縮しての開催となりました。

今年の大会は例年以上に各チームの実力が拮抗し、思わぬタイミングでの逆転劇など接戦が繰り広げられました。今大会から新たなルールとして、①女性/子供枠の選手に限り0ボール0ストライクから開始、②先発出場選手に限り元の打順を引き継ぐ形で一度だけ再出場する権利を有する「リエンタリー制」(女性/子供枠の選手は、従来通り同じ打順に限り無制限に再出場可)を導入しました。これにより、女性、子供枠選手もより一層試合を楽しめるようになり、各試合は一段と白熱した展開となりました。また、

今年から任意形式とした敗者戦も2試合開催され、こちらも大いに盛り上りました。

大会のクライマックスである決勝戦では、StormsとMitsui Mulligans が激突。試合中盤までは接戦が続き、4回終了時点でMitsui Mulligans が1点リードしていましたが、6回表にStormsが一挙6点を奪って逆転し、最終8-6でStormsが勝利を収めました。昨年、決勝戦でアストロズに惜しくも敗戦してしまいましたが、今年はその悔しさをバネに、悲願の初優勝を果たしました。

この場をお借りして、救護ボランティアとしてご協力いただいた藤田由利子先生とドロリンガー真紀先生に感謝を申し上げます。また、長沼新総領事はじめ、本大会にご参加いただいた皆様のおかげで素晴らしい大会を成功裏に終えることが出来ました。ありがとうございました。(大会事務局)

— 大西 卓哉 宇宙飛行士始動！2回目の宇宙へ！—

米国東部夏時間、3月14日(金)19時3分にJAXAの大西卓哉宇宙飛行士が2回目の国際宇宙ステーション(ISS)での長期滞在ミッションに向け、フロリダ州のケネディ宇宙センターからSpaceX社のDragon宇宙船に乗って飛び立ちました！



▲Crew-10 Dragon打上げ時の様子 (Credit: NASA)

約半年にわたる滞在期間中、大西宇宙飛行士は、宇宙ならではの環境を利用し、地上では重力によりわからなかったことや、将来的に人類が月、火星へと向かう時代になることを見据え、宇宙での身体の変化や、その対策などの研究を行う他、次世代の育成、国際協力のためのイベントなども行います。

たとえば、地上のための実験の一つである『Cell Gravisensing』(セル・グラビセンシング)では、重力が細胞に与える影響について、宇宙の無重力環境での細胞と比較することで、“寝起き”状態になってしまった際の病気予防・治療への貢献が期待されています。(今回で3回目)

そして、次世代育成、国際協力のためのイベント、『Kibo RPC』(きぼうRPC)では、アジアを中心とした学生たちがISSにある日本のカメラドローンロボット“Int-Ball2”(インットボール2)を操作するプログラムを作り、実際に動かすコンテストも行われます。(今回で6回目)

これら以外にも多くの実験などが計画されているので、この記事を読んで宇宙での活動に興味が出た方はぜひこちらのURLを訪れて頂ければと思います。

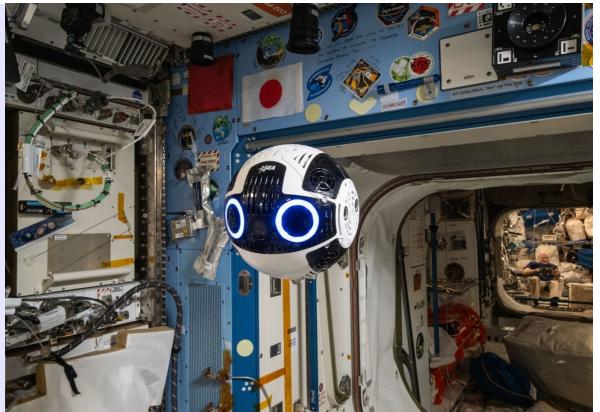
JAXA大西宇宙飛行士特設サイト: <https://astro-mission.jaxa.jp/onishi/>

また、今回楽しみなのは大西宇宙飛行士の仕事の仕方。ご存じの方もいるかもしれません、大西飛行士は宇宙飛行士でありながらISSにある日本の宇宙実験棟「きぼう」のフライトディレクターの資格を持っているところ。

大西飛行士自身、最初のミッション(2016年)の後、フライトディレクターの資格を取得し、“宇宙飛行士に指示を出す側の気持ちを知ることで、次のミッションで自分が宇宙へ行ったときに、地上との円滑なコミュニケーションができるようになる”ということを言われていました。

まさに今回、そのフライトディレクターの経験を活かしミッションに臨んでいる状況。『X』では見えにくいところかもしれません、ミッション期間中、もしくは地球への帰還後にどうだったか聞いてみたいと思います。

なお、大西飛行士は若田飛行士(2014年)、星出飛行士(2021年)に続き、日本人として3人目のISSコマンダー(船長)であり、「きぼう」フライトディレクターの資格を持ち、ISSのコマンダーを務める「初」の宇宙飛行士”であることも覚えておいてください！



▲カメラドローンロボット“Int-Ball2”(Credit: NASA)

ちなみに今回の大西飛行士の打上げ時、JAXAのヒューストン駐在員含め、多くのJAXA職員がNASAのジョンソン宇宙センター(テキサス州)とケネディ宇宙センター(フロリダ州)で対応にあたりました。(もちろん日本国内でも。)

打上げ前、打上げ時、そしてISSに到着するまでの間、ロケットの状況、大西飛行士の状況など職員一同、協力をしながら情報を集めてミッションに問題無いことを確認していました。(打上げ、ドッキング当日はJAXAのYouTubeチャンネルにて解説員を通じてミッション内容などと合わせて発信していました。)

私は今回、ケネディ宇宙センターで対応。打上げに向けてNASAが開催する多くの会議に参加した他、打上げ当日はロケットに向けて移動中の大西飛行士を見送ることができました！



▲ロケットに向かう大西飛行士(Credit: JAXA)



また、大西飛行士は、『X』(旧Twitter)にてISSで行っている活動について頻度高く写真、映像と共にポストをしているので、是非フォロー(そして“いいね”)をよろしくお願いします！

 URL: https://x.com/Astro_Onishi

偽アカウントにご注意ください！

(JAXA 山方 健士)

(写真)(右から)Dragon宇宙船の大西飛行士、NASAアン・マクレイン飛行士、NASAニコル・エアーズ飛行士、ロシアのキリル・ベシコフ(Credit: NASA)

着任の挨拶

ヒューストン日本語補習校 校長 皆川 宏志

ヒューストン日本語補習校第17代校長として着任しました皆川宏志(みながわひろし)と申します。4月5日(土)、ヒューストン・ブッシュ国際空港に到着しました。空港では運営委員長の永岡 学様の温かいお出迎えを受け、新天地での不安が払拭される思いでした。空港から学校までの道中、広大な景色に圧倒されました。

私は3月末まで、新潟県新潟市の公立中学校の校長として勤務していました。新潟市は日本海側の政令指定都市で、新鮮なお米や海産物、日本1位の酒蔵が約90軒あるなど、美味しい特産・名産がある食の宝庫として知られています。そのような新潟市内でも昨年元日の能登半島地震の被災により校舎が全壊し、校舎が使用できなくなった中学校がありました。幸い私の勤務校はすぐに通常通りの教育活動を行うことができ、当たり前の有り難さを痛感いたしました。

また、私の在外教育施設への勤務は、今回で2度目であり、1回目は2003年から2007年までの4年間、トルコ共和国のイスタンブル日本人学校で勤務しました。トルコ共和国(イスタンブル)は、イスラム教の影響が強く、生活の制約や制限がありましたが、トルコは親日で、帶同した妻と二人の子どもはとても豊かで思い出に残る経験ができました。

当校の新年度は教育目標『「自ら」「共に」「粘り強く」～個性豊かに、仲間と共に、自ら学び続ける子ども～』を掲げ、4月5日より始まりました。12日の入学式では、ヒューストン総領事、長沼善太郎様よりご祝辞をいただき、その中で「みなさん全員が素晴らしい可能性をもっている宝石の原石であり、考えてもいなかつたことに出会った喜びの感動にワクワクしてください。」との励ましの言葉をいただきました。海外で生活し、多様な経験と国際的な視点をもつ児童・生徒はグローバル人材としてまさに日本の宝です。私たち教職員は一致協力して、在籍児童生徒577名(4月1日現在)の成長をサポートする決意です。運営委員会の皆様はもとより、保護者の皆様、関係者及び関係機関の全ての皆様方に、当校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げ、着任の挨拶とさせていただきます。



4月12日、澄み渡る青空のもと、第54回ヒューストン日本語補習校入園・入学式が執り行われ、幼稚部57名、小学部83名、中学部36名、高等部14名が、新たな一步を踏み出しました。

式は中等部・高等部と幼稚部・小学部の二部制で行われました。第一部では、中等部・高等部の新入生と在校生が落ち着いた態度で臨み、既に補習校での学びを積み重ねていることを感じさせました。今後は、学びを通じて人間性をさらに深めていくことを楽しみにしています。

第二部の幼稚部・小学部の式では、初めての学校生活に少し緊張しながらも、一生懸命先生の呼名に応える姿が微笑ましく、未来への期待が膨らみました。これから学校生活が実りあるものになることを期待しています。

長沼総領事からもお言葉を頂きました通り、子供たちには様々な可能性があり、その芽が今まさに育ち始めていることを実感しました。新たに赴任された皆川校長先生のもと、これから補習校での歩みがより豊かなものになるよう心から応援しております。

新入生の皆さん、ようこそ補習校へ！これからたくさんの仲間と共に楽しく学び、充実した日々を過ごして成長していってください。入園・入学、本当におめでとうございます。

(ヒューストン日本語補習校運営委員 鵜飼 博哉)





早いもので、ヒューストンに住み始めてから30年近くの時間が過ぎ去った。初めは、たった6ヶ月の語学留学のつもりでいたのに、まさか、ヒューストンに根を張ることになるとは、あの時は想像もしていなかった。この30年で、文明は格段に進化を遂げ、昔の私が経験した苦労など今となっては笑い話にすらなりうる。そこで、今昔物語ならぬ、私の苦労話を少しあせていただこうと思う。

まず、最初の苦労話はヒューストンに来る前から始まる。語学留学を計画していた私は、留学手続きに必要な資料請求の手紙を10大学に送った。今なら、e-mailで簡単に一斉送信できそうなものだ。その後、届いたのか（もちろん、e-mailのように既読もつかない）、返事をくれるのかも分からないまま数週間から数カ月も待ち続けたものだった。そんなこんなで、ヒューストンへ人生初の海外、私の留学生活の始まりとなった。

試練は、ヒューストンに降り立ったその夜にも訪れた。今ならばGoogleで簡単に検索もできるが、当時、スマホは存在していない時代。日本から、粗末な英語力で何とか予約を取り付けたホテルへタクシーで向かう。時間はもう夜中近く。フロントデスクで名前を告げると、予約が見当たらないと言われる。パニックに陥った事は言うまでもない。後で知ったことだが、私が予約したホテルはヒューストンに数十件存在していた。そんな訳で、もちろんタクシーの運転手さんは最寄りのホテルへ。今なら、スマホのGPSで簡単に検索できてこんな失敗は起こらないに違いない。家を出てから24時間以上、心身ともに疲れ切った先に、こんな試練が待つては...しどろもどろな英語で、自分が言いたいことだけ伝え、相手の言っていることは全く理解できなかつたが、その夜はそのホテルに泊まれることになりアメリカでの最初の夜を無事に迎えることが出来た。

翌日から、大学寮での生活がスタート。これまた、スマホやPCがあれば簡単に検索できるのであるが、真っ暗な闇の中に置き去りにされたような状態の中で、毎数十分ごとに鳴るサイレンの嵐。なんて恐ろしい処に来てしまったのかと、後悔の思いを涙ながらに手紙に書きとめる毎日。実は、道路を挟んだお向かいにはテキサスメディカルセンターがあり、鳴りやまないサイレンの音はパトカーではなく、救急車の音だと分かるまで、これまた数日を要することになる。

次に、日本に住む友人、家族とのコミュニケーションの取り方の今と昔。

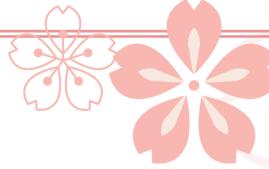
今はLINE等で簡単にテキストのやり取り、スタンプや写真まで共有できる。しかし、当時は手紙をしたためるしかなかった。電子メールを送るといつても、寮にある共有のパソコンからの受送信の為、日本語変換機能がついておらずローマ字のみ。”kyoumo juppungotoni sairenno otoga sotode narihibiiteimasu. America ha yappari kowaikunidato tuukanshiteimasu.”と送れば、”daijoubudesuka? bujini kikokusuruhiwo kokoromachinishitemasu.”と返事が...ローマ字でのやり取りはもはや暗号かと思えるほどだった。

更に今は、スマホや、PCで毎日のように会話が可能。しかも、Face Timeなるものまで登場...しかも、無料!!ときたものだ。30年前は、あちらに安いprepaid telephone cardがあると聞けば行き、こちらの方が安いと聞けば行き、少しでも安いカードを手に入れようと奮闘したものだった。30分も国際電話をかけようものなら、数十ドル、下手をすれば\$100近く費やす羽目になつた。貧乏な学生にとってはかなりの痛手であったのは言うまでもない。

こちらで生活するようになり、いろんな出会いがあり、別れがあった。それこそ、30年前に出会った人たちとのつながりは殆どない。でも、今は知り合った人たちとSNSで繋がっていられる。離れていても、みんなの事が手に取るように分かる。昔は広くて、遠かった外国が、今は本当に小さく、身近に感じられる。私にとっては大冒険であった留学も、今は“手軽”だとさえ感じられるのは私だけだろうか？



-Showing Japan-



晴れ着(七五三)撮影会

3月1日、卒業シーズンに合わせて三水会センターにて晴れ着(七五三)撮影会を開催しました。今回は15家族、36名の方々にご参加いただき、七五三や振袖での記念撮影を通じて、素晴らしい思い出を作ることができました。

また特別ゲストとして、Miss Inspirational Teen Texas 2024を授与されたNyelle Blountさんをお招きしました。日本とドミニカ共和国のルーツを持つNyelleさんは、ご自身の背景についても度々語っておられます。撮影会では鮮やかなブルーの振袖がとてもお似合いで、イベントに華を添えてくださいました。

撮影前は準備に追われることもありましたが、お客様の笑顔を見て、ボランティア一同大きなやりがいを感じました。今後もこの活動を通じて、素晴らしい瞬間を皆さまと共有していけたら嬉しく思います。



River Oaks Baptist School ～Japan Festival デモンストレーション～



3月28日、River Oaks Baptist Schoolで6年生を対象にJapan Festivalが開催され、折り紙と書道のデモンストレーションを行いました。折り紙では、ピアノと椅子の折り方に挑戦し、生徒たちは苦戦しつつも、完成したときには笑顔が広がりました。中には折り紙が得意な生徒もあり、「鶴を折りたい！」とリクエストしてくれる場面もありました。

書道では、道具や筆の使い方を学び、手本を見ながら実際に文字を書く体験をしました。ほとんどの生徒が初めての書道体験でしたが、どの生徒も素敵な作品に仕上げていました。

このようなイベントを通じて、子どもたちが日本文化に触れ、より深く興味を持ってくれることを願っています。



ガルフストリーム編集部主催 ロデオ写真コンテスト 結果発表



ガルフストリーム編集部では、早春のヒューストンの風物詩ロデオの写真コンテストを実施しました。写真をご応募頂いた皆様には御礼申し上げます。いずれもロデオらしさが感じられる写真揃いでしたが、応募作品の中から入賞作品を選定しましたので結果を発表致します。

金賞



<金賞> (\$100相当ギフトカード)

Livestock会場に降り立って手作りの暴れ馬を颶爽と乗りこなしている可愛い姿はロデオ感満載で、満場一致の金賞となりました。カラフルな耳当てもコントラストがよく効いていて、ロデオというお祭りに参加している雰囲気がよく表れている一枚ですね。



銀賞

銅賞



<銀賞> (\$50相当ギフトカード)

ロデオと言えばバーベキューのイメージが強いですが、このようにジャガイモを豪快な形で売っているのもロデオの醍醐味ですね。両手に花ならぬ両手にジャガイモの素敵な笑顔がロデオの縁目的な側面を綺麗に捉えています。

<銅賞> (\$30相当ギフトカード)

ご夫妻の仲睦まじさが伝わってくる一枚で、旦那様のカウボーイハットと奥様のカウボーイブーツがロデオ感を盛り立てています。背景の特大ブーツもこれぞテキサス！という感じですね。

特別賞



<特別賞> (\$20相当ギフトカード)

当初予定になかった賞ですが、ロデオのハイライトの一つでもある輪投げ競技の決定的瞬間を切り取った2枚を特別賞として選出しました。ロデオならではの迫力が伝わって来ますね。

(副編集委員長 竹原 優)

今月号は松本 龍先生から、消化器外科がご専門の小山 虹輝先生にバトンが移りました。

第244回

がん免疫療法の最前線

MD Anderson Cancer Center, Postdoctoral Fellow, MD, PhD

小山 虹輝



MD Anderson Cancer Centerで腎がんの研究に従事しております小山虹輝と申します。福岡県出身で九州大学臨床・腫瘍外科という教室で胃がん、大腸がん、腎がんなどを主に診療する消化器外科医として臨床に従事した後、腎癌の基礎研究に飛び込み今に至ります。外科医がなぜ基礎研究?という質問を自問自答しながら研究をしておりますが、特に腎がんではいかにきれいな手術が行われても再発してしまう患者さんをたびたび経験し、「手術で完治できる患者さんをいかに増やすか」を追究するにはやはり基礎研究の道は避けて通れないと思い、気づけばヒューストンまで海を渡っておりました。今回は、腎がんのような手術だけではなく太刀打ちできない難治性癌にどう挑むかという点で、将来の有望な治療法として大きな注目を集めている免疫療法についてお話ししたいと思います。

がん免疫療法の現状と課題

「免疫」とは、私たちの体が外からの有害なもの(例えば、細菌やウイルス)から自分自身を守る仕組みのことです。アニメ「はたらく細胞」でも活躍するT細胞やB細胞などを中心とする免疫システムは、体の中で「警察」のような役割を果たし、異常な物質や病原体を見つけ、排除する働きを担います。異常な細胞であるがん細胞に対しても私たちの免疫システムは働きますが、細菌やウイルスなどの感染症と比べ、がん細胞はより巧妙で免疫から逃れるために様々な方法をとります。がん免疫療法は、患者自身の免疫システムを活性化し、がん細胞を攻撃する治療法で、免疫チェックポイント阻害剤(T細胞を活性化して免疫を高める薬剤)が代表的な例です。これらの治療法は一部の患者に劇的な効果をもたらしますが、すべての患者に有効ではなく、効果が限定的な場合もあります。特に、難治性癌の代表格である腎癌では既存の免疫療法の有効性は示されていません。

究極の個別化治療であるネオアンチゲンワクチンとは

そこで、今後ブレイクスルーとなりうる新たな治療法として期待されているのがネオアンチゲンワクチン療法です。ネオアンチゲン(ネオ抗原)とは、がん細胞に特有の遺伝子変異によって生じる新しい抗原(免疫システムのターゲット)のことです。ネオアンチゲンを標的とすることで非自己として強力な免疫反応を惹起すると考えられ、その有効性は2015年にScience誌に相次いで報告されました^{1,2)}。また、これらは正常な細胞には存在しないため、がん細胞を特異的に攻撃するターゲットとなり、副作用の軽減が期待できます。がん細胞の遺伝子変異というのは患者ごとに異なるので、ネオアンチゲンも一人一人違います。ネオアンチゲンワクチン療法は、腫瘍から個々のネオアンチゲンを特定し、それを基にワクチンを設計するというアプローチにより、個別化された最適な治療が可能となり、より効果的に副作用なくがん細胞を攻撃できる「究極の個別化治療」と期待されています。実際に英国ではネオアンチゲンワクチンが国家プロジェ

クトとして現在進行しており、近年米国では悪性黒色腫という皮膚がんに対する臨床試験で非常に有望な結果が示されており標準治療として認可される日も近いと思われます³⁾。

ネオアンチゲンワクチン療法開発の現状

現在、ネオアンチゲンワクチン療法の開発は急速に進んでいます。特に米国では、新型コロナウイルスのパンデミックで大きな飛躍を遂げたmRNAワクチンの技術を、がん細胞に対して利用したネオアンチゲンワクチンの開発が盛んです。前述の悪性黒色腫の臨床試験に加え、腎癌など既存の治療法ではなかなか太刀打ちできなかった難治性の固形がんにおいても有効性が期待されています。例えば、BioNTech社の開発したmRNAワクチン療法を腎がんに使用したNew YorkのMemorial Sloan Ketteringがんセンターで進行中の臨床試験では、16人の腎臓がん患者のうち、ワクチンに反応を示した半数の患者は18ヶ月後の時点で再発なく経過しているという良好な経過が報告されています⁴⁾。また、私が九州大学に所属していた際に、福岡がん総合クリニック、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所と共同で行った腎臓がんに対する個別化ネオアンチゲン樹状細胞療法の解析では、後方視的解析ではあるものの、16人の腎臓がん患者のうち81.3%でネオアンチゲンに反応するT細胞の誘導に成功し、再発予防や長期生存に寄与する可能性が示されました⁵⁾。

ネオアンチゲンワクチン療法の今後の展望

まずは米国を中心に展開されているmRNAワクチン療法の臨床試験の結果が待たれるところですが、私たちが報告した樹状細胞を使用したネオアンチゲンワクチン療法も前向きな臨床試験を行い、何とか日本からも革新的ながん治療に関する知見を発表することができればと願っております。今後の課題としては、より効率的なネオアンチゲンの特定技術や、製造プロセスの迅速化、ワクチンの投与形態の検討(mRNAや樹状細胞)が挙げられます。また、治療効果を最大化するための併用療法の研究も進められています。

おわりに

ネオアンチゲンワクチン療法は、がん治療の未来を切り開く可能性を秘めています。患者一人ひとりに最適化された治療が実現する日も、そう遠くないかもしれません。最新の研究結果や技術の進展により、この治療法がさらに進化し、多くの患者に希望をもたらすことが期待されています。

1) Beatriz M. Carreno et al. A dendritic cell vaccine increases the breadth and diversity of melanoma neoantigen-specific T cells. *Science* 348, 803-8 (2015). DOI:10.1126/science.aaa3828

2) Ton N. Schumacher, Robert D. Schreiber. Neoantigens in cancer immunotherapy. *Science* 348, 69-74 (2015). DOI:10.1126/science.aaa4971

3) Weber, Jeffrey S et al. Individualised neoantigen therapy mRNA-4157 (V940) plus pembrolizumab versus pembrolizumab monotherapy in resected melanoma (KEYNOTE-942): a randomised, phase 2b study. *The Lancet* 403, 632-44 (2024).

4) Rojas, L.A. et al. Personalized RNA neoantigen vaccines stimulate T cells in pancreatic cancer. *Nature* 618, 144-50 (2023). DOI:10.1038/s41586-023-06063-y

5) Oyama, K et al. Neoantigen peptide-pulsed dendritic cell vaccine therapy after surgical treatment of pancreatic cancer: a retrospective study. *Front. Immunol.* 16, 1571182 (2025). DOI: 10.3389/fimmu.2025.1571182

次回はペイラー医科大学でアルツハイマー病を中心に神経変性疾患をご専門に研究されている新田陽平先生です。先生は毎月開催されている日本人研究者の勉強会の幹事を務められており、執筆に関しても快く引き受けくださいました。神経変性疾患の研究に関する大変興味深いお話を伺えるはずです！



ワン!モア ヒューストン

Vol. 17 ドッグフレンドリーなワイナリーへ

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)

ヒューストンから西に約150マイル(約240km)車で移動したところに、テキサス州の州都オースティンがあります。そのオースティンからさらに西側の丘陵地帯は「テキサス・ヒル・カントリー」と呼ばれる地域で、テキサス州のワインの産地として有名です。オースティンからフレデリックスバーグに続く道を走っていると、葡萄畑が広がる風景や、ワイナリーの看板を数多く見ることができます。

以前、テキサス・ヒル・カントリーを訪れた際に、屋外のパティオに犬を同伴してワイン・テイスティングを楽しむ人の姿を見かけたことがありました。改めて調べてみると、「dog friendly(犬同伴可能)」なワイナリーがあることが分かり、いつか我が家の大愛犬アカアと一緒に行ってみたいと思っていました。

犬を同伴できるとはいっても、テキサスでは飲食店の中に犬を入れることは稀です。敷地内の散策やパティオで一緒に時間を過ごすのは歓迎、ということなので、気候の良い時期を選びたいところですが、それなりのサイズに成長したアカアを同伴するのであれば、ワイナリーが混雑する時期も避けたい。考えた結果、観光客が多くない冬の時期に訪れてみることにしました。

犬を同伴できるところを事前にインターネットで調べた上で(色々な情報サイトがありました)が、例えば<https://texashillcountrywineries.org/blogs/news/dog-friendly-wineries-in-the-texas-hill-country>など)、いざ、ワイナリーへ。車を駐車場に停めて、犬を車



ワイナリーの建物の前にて



パティオでワインテイスティングさせてもらいました

アカアからすると、ただじっとしているだけなのはつまらないの、テーブルの近くで大人しくしていたら「おりこう」と声をかけてご褒美をあげたり、少し気分転換にワイナリーの敷地内を散歩したりしつつ、飼い主の「夢」に付き合ってもらいました。数箇所のワイナリーを訪問ましたが、オフシーズンにも関わらず、有名なワイナリーには観光客も多くいて、我が家のように犬同伴の家族も見かけました。

特にこれから暑い時期は、犬を車の中で待たせることができないので、敷地内は犬も同伴して良いといつてももらえる場所があると知ることができたのは、犬連れ旅行者としては有難いことでした。

ただし、ワイン・テイスティングの支払いやワインを購入するため建物に入る際には犬を連れて入ることはできないので、家族の誰かが建物に代表入り、他の家族が外で待っているという段取りも必要です。これから犬同伴で訪れてみようという方は、ご家族やご友人の方と一緒に訪れてみてください。



冬でも外で過ごせるのはテキサスならでは



- ・記事執筆にご協力頂ける方(おすすめレストラン、旅行先など皆様からの楽しい情報を待ちています!)
- ・記事の担当をして、執筆者と商工会事務局をつないで頂ける方
- ・ガルフストリームの誌面でレイアウトを担当して頂ける方

※レイアウトは、MS Publisher を使用しています。Word・Power Point が使える方でしたらすぐに習得可能です。

編集会議は、月1回ハイブリッド形式で開催しています。

ご興味のある方は、事務局までご連絡ください。jbahouston12651@gmail.com

から下ろす前に、ワイン・テイスティングをパティオでさせてもらえるかどうか、犬も一緒にパティオにいて良いかを尋ねてみました。「もちろんどうぞ」とワイナリーの方は、手際よくテイスティングセットをパティオに運んでくれました。数種類のワインの解説をしてもらい、試飲をして、1時間足らずの滞在でしたが、念願の「犬と一緒にワイン・テイスティング」の夢が叶いました。

内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。

■May後半 - Jun.前半

[Blackberries of Houston@ Cypress](#)

いちご狩りに続いて、ブラックベリー狩りはいかがでしょうか？こちらのファームは容器をもらって摘み取った分を計量するシステムで、キャッシュオンリーです。

■開催中 - Oct. 5

[Body Worlds 101: The Core of Life@ Health Museum](#)

日本でもかつて注目を集めた人体の不思議展、"Body Worlds"がヘルスミュージアムで開催中です。木曜午後はFree Family Thursday!オンライン予約で入館無料、特別展は6ドルです。

■May 31 & Jun. 1

[Reptilian Nation Expo@ NRG Center](#)

爬虫類好き集まれ！テキサス最大級のセレクションの爬虫類展がヒューストンにやってきます。

■Jun. 5

[NBA FINALS](#)

男子プロバスケットボールNBAもファイナルへ。ヒューストン・ロケッツは第1戦でウォーリアーズと第7戦までもつれ込んだ末、残念ながら敗退。八村

令和6年度(2024-2025)4月商工会理事委員会議事録

日時：2025年4月16日(水)13:00~13:50

会場：United Way of Greater Houston – CRC

出席者：41名(うち名誉会員1名、常任委員32名、理事委員0名、代理正会員4名、オブザーバー2名、事務局長2名)

欠席者：85名(うち会長委任39名、代理委任4名、無回答42名)

*会員消息

2025年4月15日現在の会員数は名誉会員11名、正個人会員934名(正団体会員数:117社)、準会員57名、総会員数1002名。

議事録と会員消息の詳細は、商工会HPの「[会員専用ページ](#)」を参照。



～図書館便り～

普段何気なく観ているテレビドラマや映画の中には書籍を元に制作されたものが驚くほど沢山あります。クラシックなものから最近の小説まで、数多くの作品が映像化されています。是非「テレビドラマ化された小説」で検索してみて下さい。残念なことに、映像化された作品には少しがっかりしてしまうことが多い

起ります。先に書籍を読んだ場合でも後から読んだ場合でもそれに変わりはありません。その原因是書籍と実写に違和感を覚えてしまうからだと思うのです。時間に限りのあるテレビドラマや映画では詳細を省略せざるを得ないのでしょうが、登場人物のイメージや背景が私の想像していたものと違うことが多いのです。ところが、コミックの実写化ではその様なことが起こらないのです。私の観たものに限りますが、「仁」「孤独のグルメ」「ドラゴン桜」「ブラックジャック」などが例に挙げられます。コミックは既に視覚イメージが出来上がっているので、登場人物や背景のイメージをそのまま表現しやすいのではと思います。

是非、これからテレビドラマや映画を観る時に、自分の書籍を読みながら想像した登場人物や背景と映像化された作品との違いを探しながら鑑賞するのも新しい楽しみ方の一つかもしれません。

(図書館土曜スタッフ 丹藤 早苗)

免責事項: 本紙掲載の情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保証するものではありません。情報が古くなっていることもあります。掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また本紙に掲載したリンク先の第三者サイトについて、同サイトに掲載されている内容を確認しておりません。ご自身の責任でご利用ください。

星選手のレイカーズも第1戦で姿を消しました。Game1は6月5日からスタートです。

■Jun. 12

[Andrea Bocelli In Concert@ Toyota Center](#)

盲目の世界最高峰テノール、アンドレア・ボチェッリがヒューストン交響楽団と共に演します。

■Jun.14 & 15

[Tokyo X@NRG Center](#)

現代日本文化の魅力を発信するTokyo X。和太鼓の演奏や侍ショー、コスプレコンテスト、J&K-Popライブステージやラーメンや日本酒の販売、着物ワークショップなど、さらにパワーアップしたTokyo Xをお見逃しなく。

■Jun. 15 & 16

[SHAKIRA Las Mujeres Ya No Lloran World Tour@ Toyota Center](#)

コロンビア出身歌手シャキーラによるライブ。グラミーにもノミネートされた7年ぶりの新アルバムを引っさげたワールドツアー。

■Jun.19

[Juneteenth](#)

南北戦争中に最後まで黒人奴隸制度が残っていたテキサス州で解放が宣言された日を祝い、国の休日となったジューンティーンス。署名が行われたガルベストンでは、その歴史を辿ることができます。

編集後記

ここ日本では春めいた桜日和から瑞々しい新緑の季節へと移り変わり、代わり映えのしない毎日でも、一歩外に出ると新鮮な喜びがあちらこちらに溢れています。ヒューストンでは短い春が終わり、屋内の冷房が嬉しい季節になっている頃ではないでしょうか。

私が初めてGulf Streamを手にしたのは2016年の春でした。主人の赴任に帯同し当地に参りましたが、新天地ヒューストンで日本語のコラムを楽しめるだけではなく、日本人コミュニティの紹介や災害時のhow-to情報が詰め込まれた本誌に、何度も助けられました。

駐妻でありながら日本語補習校の教員として長く勤め、商工会の一端に属し、明るく楽しく過ごしていましたが、子供の進学のため、思い出いっぱいのヒューストン生活を胸に2022年母子で先行帰国をしました。補習校を辞する前より本誌の編集委員を始め、帰国してからもレイアウト担当を担い今年で5年目を迎えております。

ヒューストンの「今」を切り取った記事を毎号楽しみに拝読し、日本とアメリカの時差にも負けず、楽しく作業を続けて参りましたが、今年は子どもの大学入試に奔走する一年となるため、今春をもって編集委員を辞めることにいたしました。

まとまった時間が取れるようになりましたら、日本に帰国して感じたことや日本の学校事情、アメリカで買ってきて良かった物など、折に触れて寄稿していきたいと思います。

SNSが情報発信のプラットフォームとして台頭して久しく、本誌が今後どのような形で刊行していくのか大変興味深いところですが、ヒューストンで生活される日本の方々に、これからも長く愛される情報誌であり続けることを、切に願っております。

(編集委員 芦田 友紀)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中！

問い合わせ先: sansuikai@jbahouston.org

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

<https://www.jbahoustongulfstream.com/>

発行行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 濱田 哲

編集委員長: 伊藤義治

構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同